

(23) いちばん関心をもつ選挙 (Q23)

- ・いろいろな選挙の中で最も関心のある選挙をひとつだけ聞いたところ、「衆議院議員選挙」が 32.0% と最も高く、「市長選挙」が 21.5% と続く。それ以外では「知事選挙」12.7%、「市議会議員選挙」6.6%。である。また「とくに関心をもっている選挙はない」という人は 21.3% みられる。
- ・これまでの調査と比較すると、「衆議院議員選挙」が相変わらず最も多く、「市長選挙」が続いており、「知事選挙」への関心が回復し、「市議会議員選挙」は引き続き漸減している。

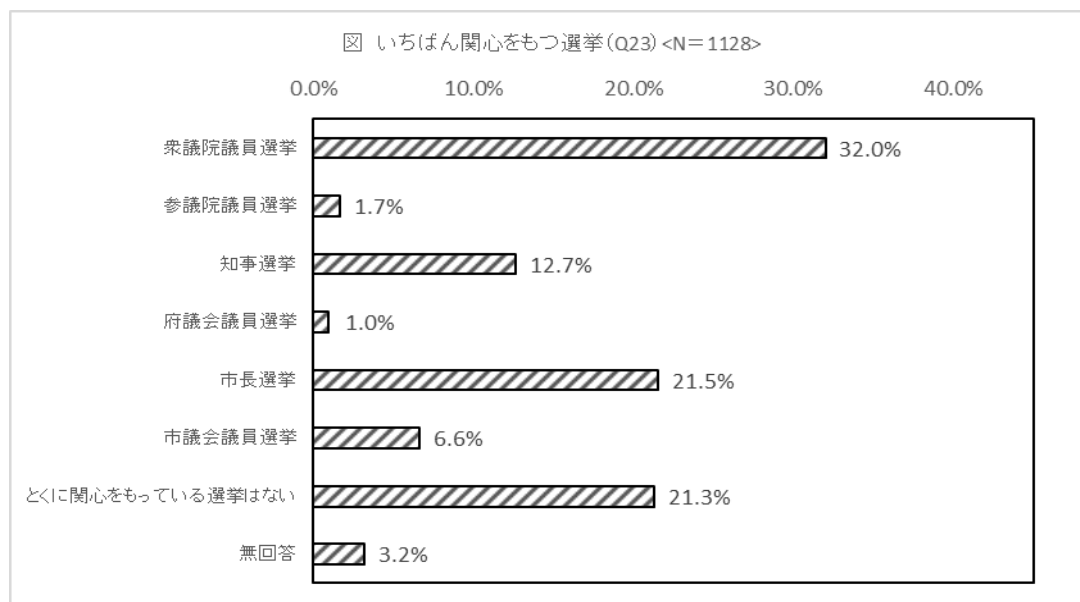


表 いちばん関心をもつ選挙 (時系列変化)

	回収数	衆議院議員選挙	参議院議員選挙	知事選挙	府議会議員選挙	市長選挙	市議会議員選挙	特に関心をもっている選挙はない	無回答
昭和54年	1431	24.6	3.1	23.2	2.9	5.9	20.8	10.6	8.9
昭和58年	1857	34.6	0.1	11.6	2.5	4.9	18.3	20.7	3.3
昭和62年	1921	42.0	3.7	5.5	2.1	4.3	18.6	20.9	2.9
平成3年	1656	43.8	2.9	4.4	2.2	5.2	13.8	24.8	2.9
平成7年	1694	34.4	1.7	12.9	2.3	4.7	13.6	27.2	3.4
平成11年	1650	32.1	2.1	15.2	2.0	3.8	14.8	26.8	3.3
平成15年	838	37.2	1.9	11.5	1.8	6.9	16.1	24.7	3.7
平成19年	640	38.0	3.9	10.3	0.8	8.4	10.8	23.4	4.4
平成23年	1201	35.8	1.2	16.5	0.9	13.8	7.7	21.4	2.7
平成27年	966	35.7	1.3	5.7	1.4	21.4	6.9	22.0	5.4
平成31年	1128	32.0	1.7	12.7	1.0	21.5	6.6	21.3	3.2

注) 数値は回収数を 100 とした%

(24) これまでの投票状況 (Q24)

- これまでの国会議員選挙や地方選挙の投票状況をみると、「かならず投票している」人は 57.6%で、「だいたい投票している」人の 31.3%と合わせると、88.9%の人が投票している。
- 前回の調査と比べると、これまで投票していると答えた人の割合は若干増えているものの、ほぼ同じ水準である。

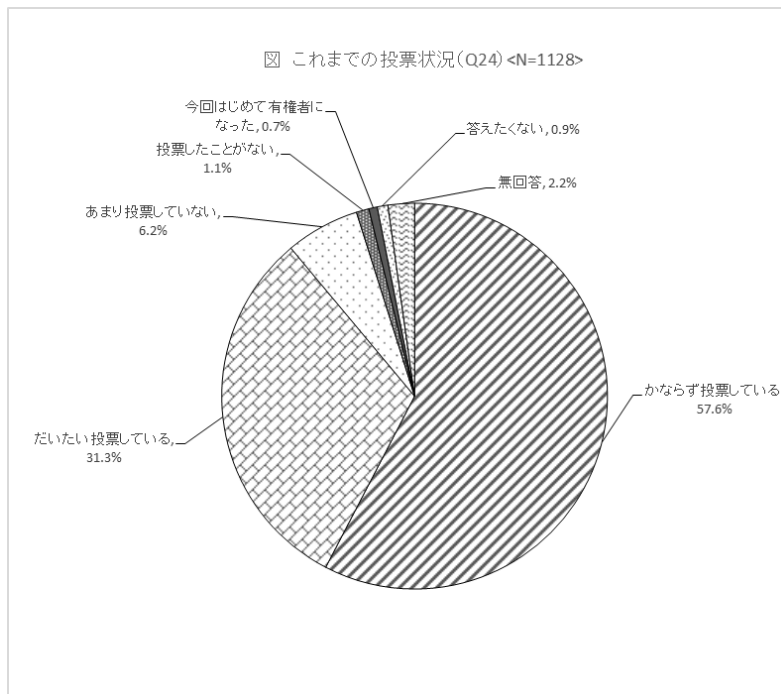


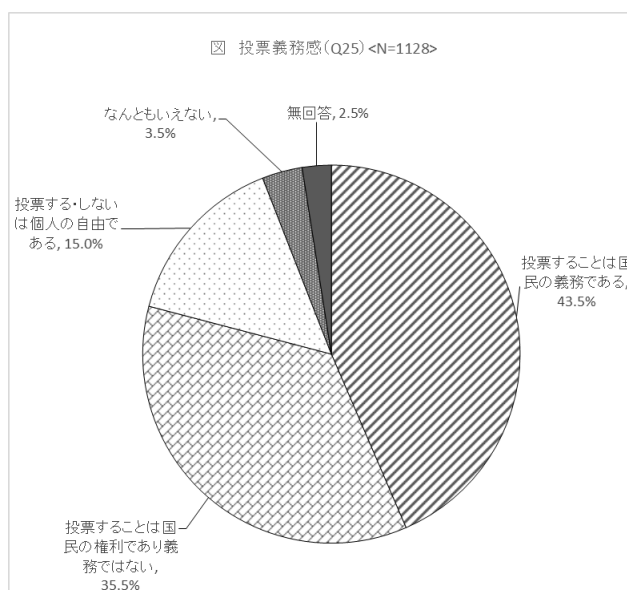
表 これまでの投票状況 (時系列変化)

	回収数	投票している計	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回初めて有権者になった	答えたくない	無回答
昭和54年	1431	86.9	56.2	30.7	8.2	1.6	1.0	1.2	1.0
昭和58年	1857	84.5	56.6	27.9	7.2	2.7	2.7	0.9	2.2
昭和62年	1921	85.3	54.6	30.7	8.7	3.1	0.3	1.1	1.6
平成 3年	1656	82.7	49.1	33.6	9.8	2.4	0.5	2.7	1.9
平成 7年	1694	79.6	47.5	32.1	10.9	4.4	1.9	1.4	1.8
平成11年	1650	79.1	50.4	28.7	12.3	3.5	0.8	2.2	2.1
平成15年	838	82.9	50.7	32.2	8.5	3.5	0.8	1.8	2.5
平成19年	640	88.1	48.1	40.0	8.0	2.2	0.8	0.5	0.5
平成23年	1201	85.0	52.0	33.1	11.4	1.4	0.5	1.2	0.4
平成27年	966	87.6	53.0	34.6	7.7	1.8	0.4	0.7	1.9
平成31年	1128	88.9	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2

注) 数値は回収数を 100 とした%

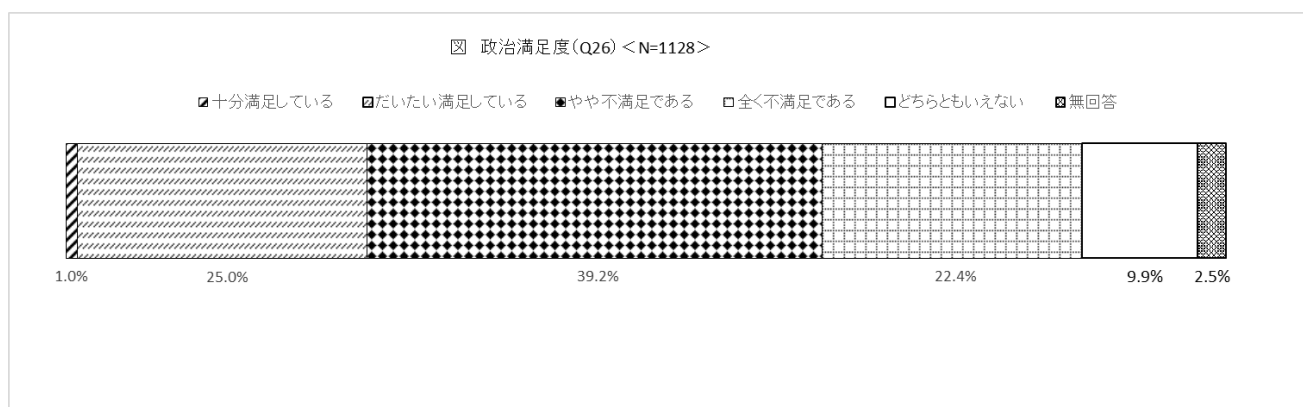
(25) 投票義務感 (Q25)

- 投票することについて、「国民の義務である」という人は 43.5%、「国民の権利であり、義務ではない」という人は 35.5%となっている。「投票する・しないは個人の自由である」という人も 15.0%みられる。



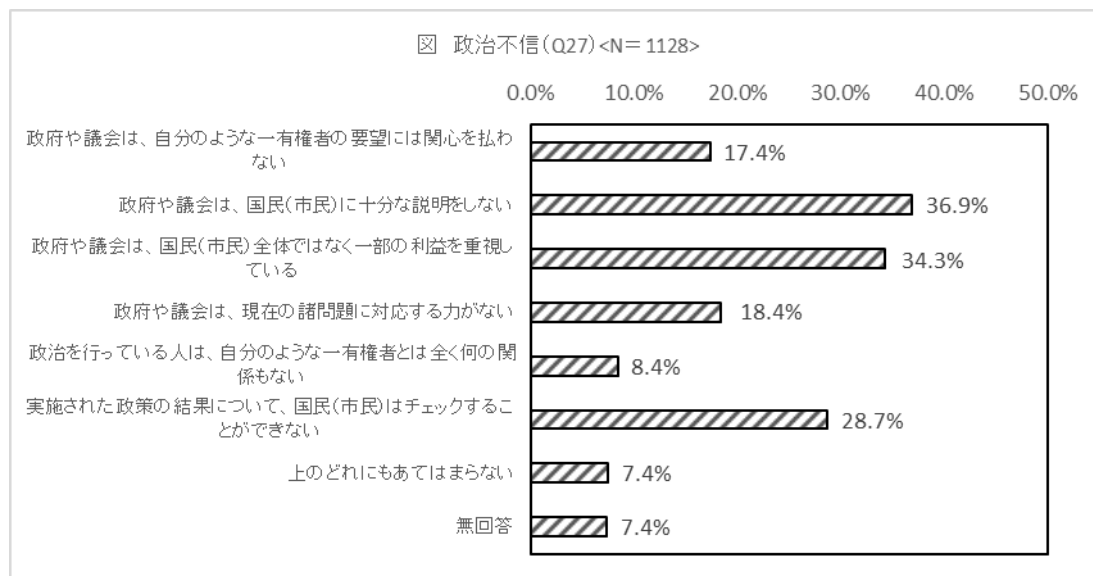
(26) 政治満足度 (Q26)

- 現在の政治に対し、「十分満足している」人は 1.0%で、「だいたい満足している」人の 25.0%と合わせると、26.0%の人は満足している。一方、「やや不満足である」人は 39.2%で、「全く不満足である」人の 22.4%と合わせると、61.6%の人が不満足である。



(27) 政治不信 (Q27)

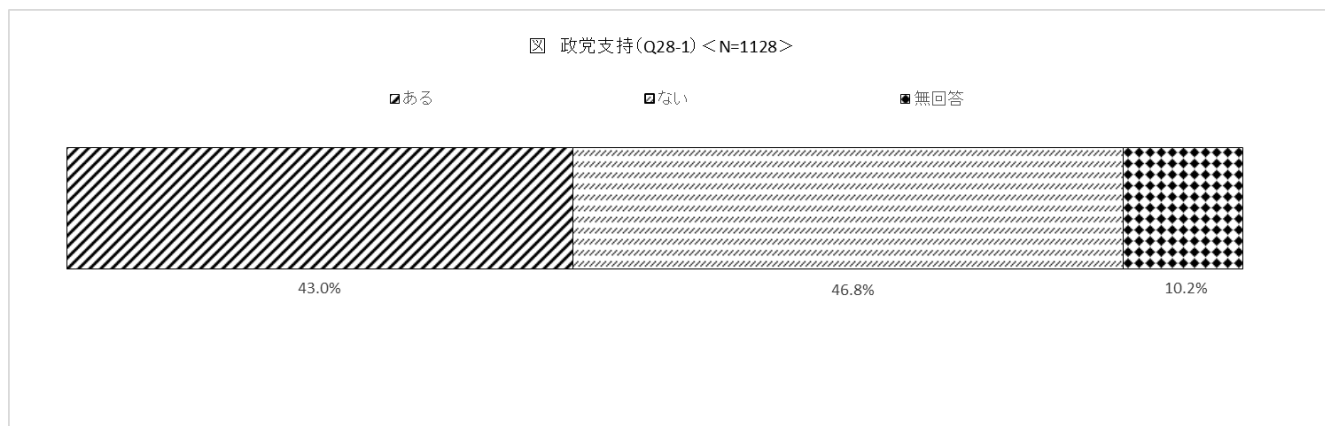
- 政治に対する意見として2つまで聞いたところ、「政府や議会は、国民（市民）に十分な説明をしない」が36.9%と最も多く、次いで「政府や議会は、国民（市民）全体ではなく一部の利益を重視している」が34.3%、「実施された政策の結果について国民（市民）はチェックすることができない」が28.7%と続いている。



(28) 政党支持

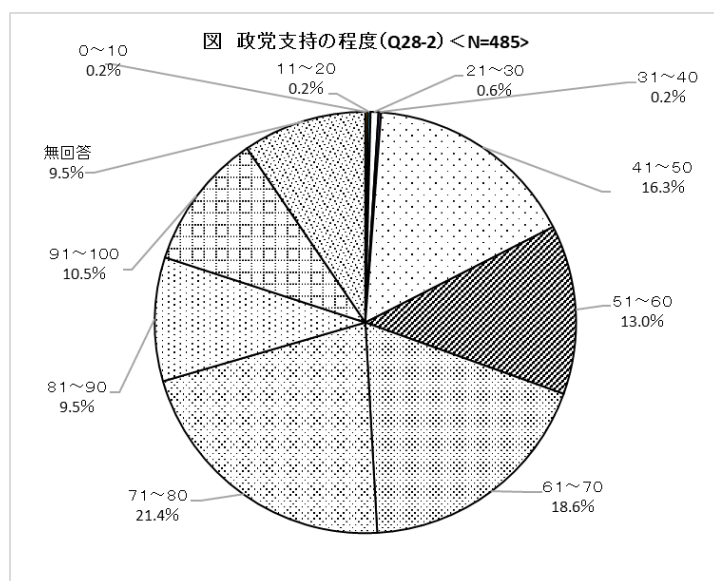
政党支持 (Q28-1)

- ・支持している政党が「ある」人は 43.0%、「ない」人は 46.8%となっている。



政党支持の程度 (Q28-2)

- ・支持政党がある人の支持の程度をみると、「強く支持している (71 度以上)」人は 41.4%、「それほどでもない (51 度以上 70 度以下)」人は 31.6%である。



(29) 後援会加入状況

後援会加入状況 (Q29-1)

- ・特定の候補者の後援会の「会員になっている」人は3.8%、これに対し、後援会の「会員になっていない」人は80.2%である。
- ・これまでの調査では、後援会の「会員になっている」人の割合は継続的に低下している。

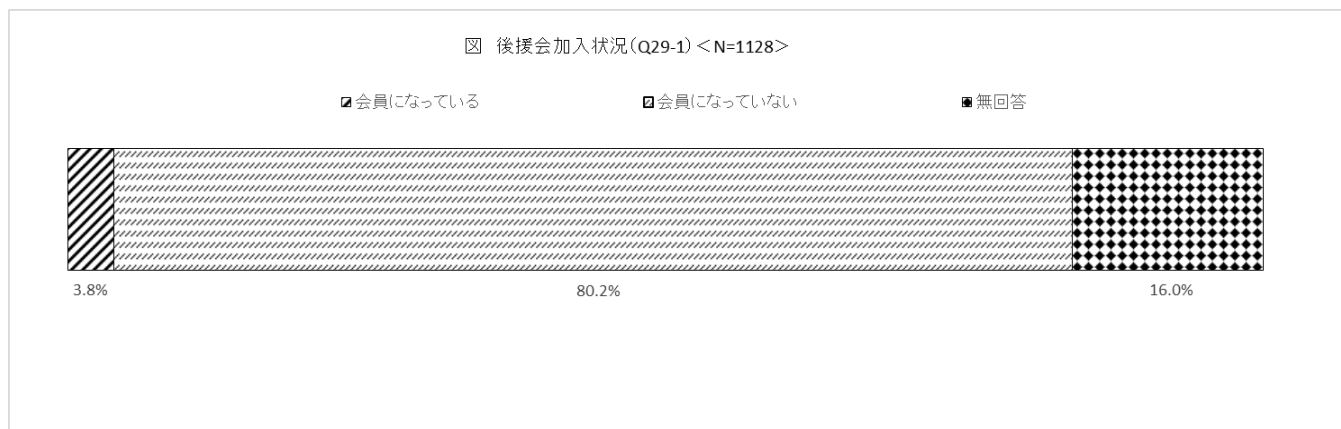


表 後援会加入状況（時系列変化）

	回収数	会員 になっ てい る	会員 になっ てな い	無回 答
昭和54年	1431	22.4	75.5	2.1
昭和58年	1857	22.7	75.3	2.0
昭和62年	1921	23.6	74.1	2.3
平成 3年	1656	19.1	78.3	2.6
平成 7年	1694	17.2	80.2	2.6
平成11年	1650	15.3	78.6	6.1
平成15年	838	12.8	79.1	8.1
平成19年	640	9.4	89.7	0.9
平成23年	1201	7.7	91.4	0.8
平成27年	966	6.8	86.4	6.7
平成31年	1128	3.8	80.2	16.0

注) 数値は回収数を 100 とした%

勧誘の有無（Q29-2）

- ・ここ2～3年の間に後援会への加入を誘われたことがある人は、9.9%である。
- ・また、勧誘された人の割合は年々、低下を続けている。

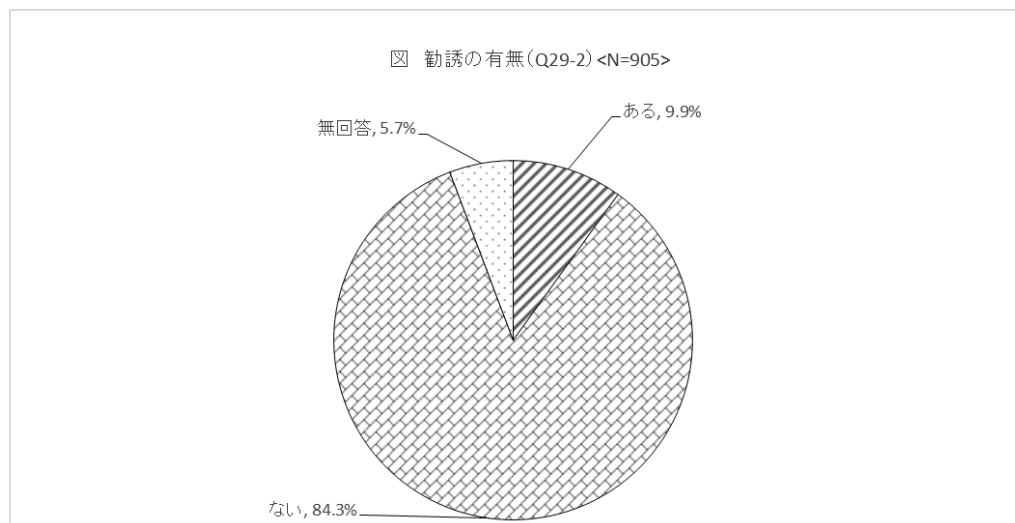


表 勧誘の有無（時系列変化）

	会員 になっ ていな い人	あ る	な い	無 回 答
昭和54年	1081	37.6	59.9	3.6
昭和58年	1398	37.0	58.7	4.3
昭和62年	1423	34.2	60.1	5.7
平成3年	1297	31.6	64.5	3.9
平成7年	1358	26.4	69.2	4.4
平成11年	1297	23.0	73.3	3.8
平成15年	663	21.9	72.5	5.6
平成19年	574	16.2	81.5	2.3
平成23年	1201	14.7	82.7	2.6
平成27年	835	10.9	85.9	3.2
平成31年	905	9.9	84.3	5.7

注）数値は回収数を100とした%

候補者の区分（Q29-3）

- ・加入している後援会の候補者の区分としては、「市議会議員選挙の候補者」が主で 86.0%を占める。
また、「衆議院議員選挙の候補者」は 44.2%、「府議会議員選挙の候補者」は 34.9%みられる。
- ・後援会の候補者の区分は、前回と同様、「市議会議員選挙の候補者」が 86.0%と最も高く、また「衆議院議員選挙の候補者」と「参議院議員選挙の候補者」が、それぞれ 44.2%、27.9%と大きく増えている。

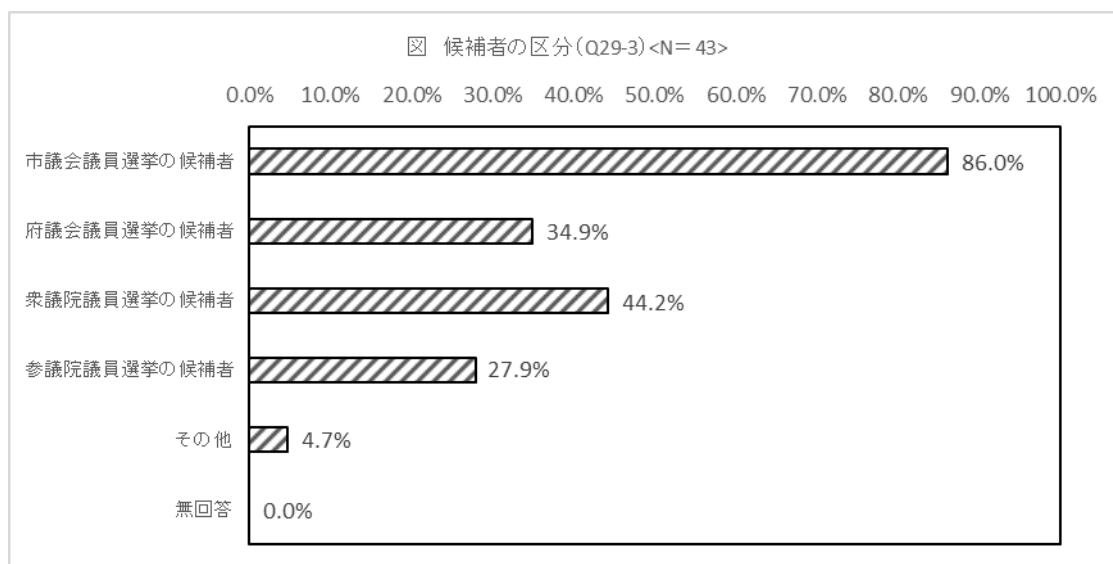


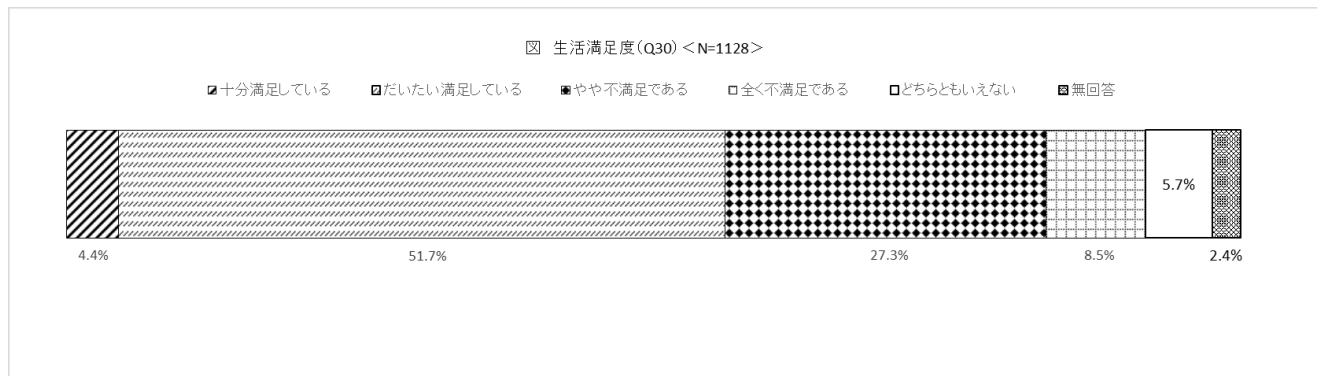
表 候補者の区分（時系列変化）

	会員 になって いる人	市議 会議員 選挙の 候補者	府議 会議員 選挙の 候補者	衆議 院議員 選挙の 候補者	参議 院議員 選挙の 候補者	その 他	無回 答
昭和58年	421	77.7	45.7	21.4	12.8	1.0	1.2
昭和62年	453	79.2	34.4	23.2	8.4	1.0	3.3
平成 3年	316	71.2	46.2	30.7	9.2	1.6	1.9
平成 7年	292	70.5	34.6	27.4	7.5	0.3	5.5
平成11年	252	84.5	35.7	18.7	7.9	0.4	5.2
平成15年	107	76.6	15.9	8.4	1.9	1.9	0.9
平成19年	60	75.0	8.3	6.7	1.7	3.3	5.0
平成23年	93	69.9	41.9	33.3	17.2	0.0	3.2
平成27年	66	80.3	42.4	28.8	13.6	6.1	1.5
平成31年	43	86.0	34.9	44.2	27.9	4.7	0.0

注) 数値は回収数を 100 とした%

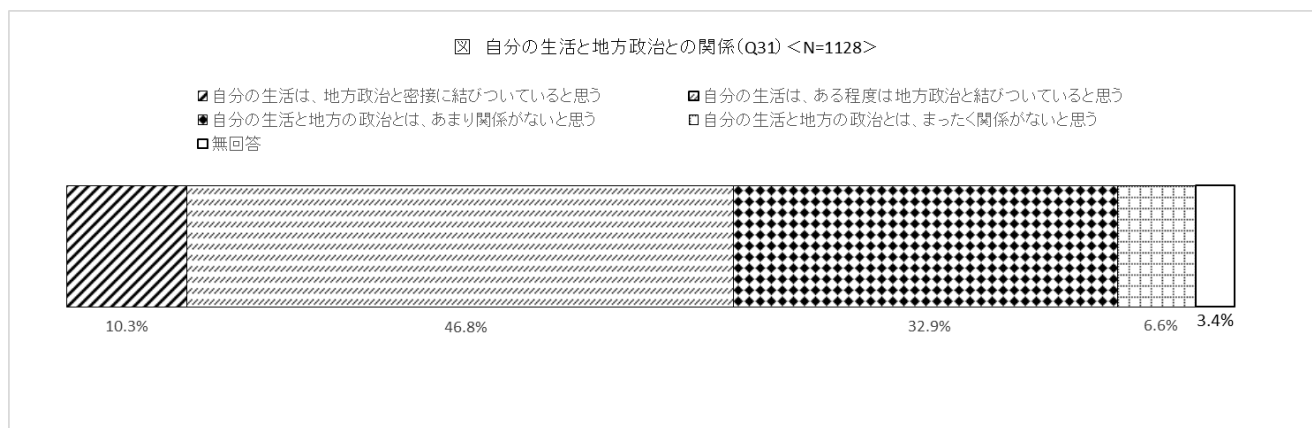
(30) 生活満足度 (Q30)

- ・現在の自分の生活に対し、「十分満足している」人は 4.4%で、「だいたい満足している」人の 51.7%と合わせると、56.1%の人が満足している。一方、「やや不満足である」人は 27.3%で、「全く不満足である」人の 8.5%と合わせると、35.8%の人が不満足である。



(31) 自分の生活と地方政治との関係 (Q31)

- ・自分の生活が地方政治と結びついているかどうかを訊いたところ、「密接に結びついている」が 10.3%、「ある程度は結びついている」が 46.8%であり、6 割近くの人が関係ありと考えている (57.1%)。これに対し、「あまり関係がない」32.9%、「まったく関係がない」6.6%で、4 割近くの人 (39.5%) が関係ないと考えている。



(3 2) 投票と地方政治

(1) 知事や市長、府や市の議会議員の選挙で、自分自身の投票が地方政治に反映するという意識について、「そう思う」が 20.4%、「どちらかといえばそう思う」が 42.5%であり、合わせると 62.9%の人は「自分の投票が地方政治に反映する」と感じている。一方、「どちらかといえばそう思わない」が 17.6%で、「そう思わない」の 8.5%と合わせ、26.1%の人は「自分の投票が地方政治に反映しない」と感じている。

- ・投票が地方政治に反映するという意識については、平成 23 年から選択肢が変更され、一概に経年比較はできないが、「自分の投票が、地方政治に反映すると思う」と回答した人の割合が多いという傾向はわからない。

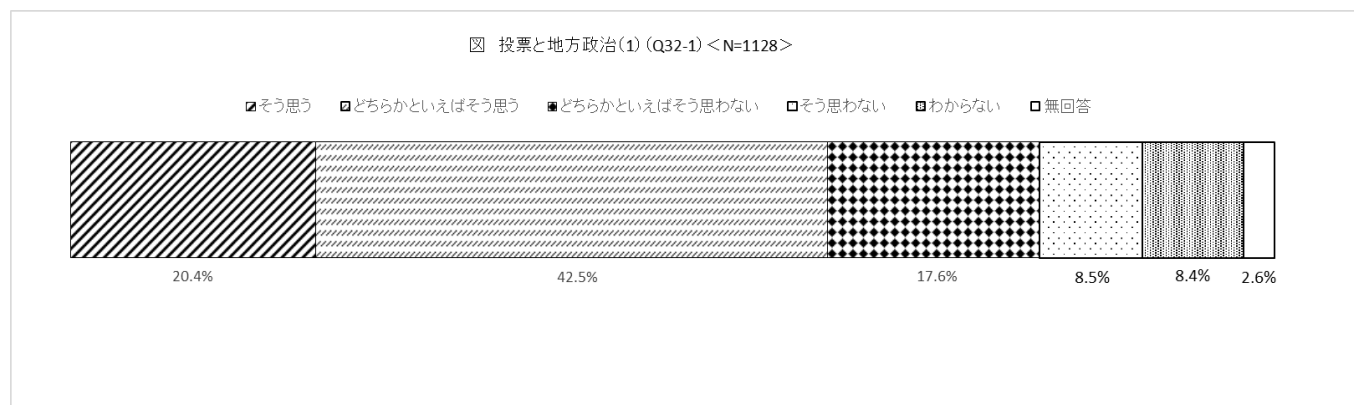


表 投票と地方政治（時系列変化）

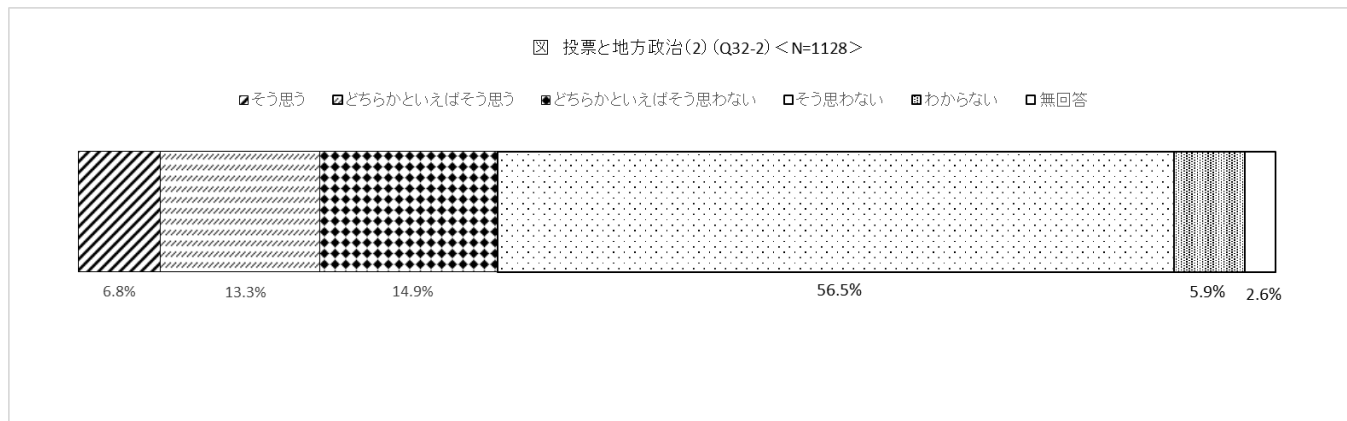
	回収数	自分の投票が、地方政治に反映する、と思う	自分の投票が、地方政治に反映する、と思わない	その他	分からない	どちらともいえない	無回答
昭和62年	1921	47.6	28.0	2.2	18.7	-	3.5
平成3年	1656	42.3	26.2	1.1	16.7	-	3.7
平成7年	1694	45.7	31.0	2.0	17.9	-	3.4
平成11年	1650	39.6	32.6	2.0	21.6	-	4.2
平成15年	838	39.4	39.1	1.2	14.0	-	6.3
平成19年	640	39.1	30.6	2.2	-	27.3	0.8
平成23年	1201	56.0	33.6	-	9.8	-	0.5
平成27年	966	57.6	32.6	-	5.4	-	4.5
平成31年	1128	62.9	26.1	-	8.4	-	2.6

注) “自分の投票が、地方政治に反映すると思う” は「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合算。

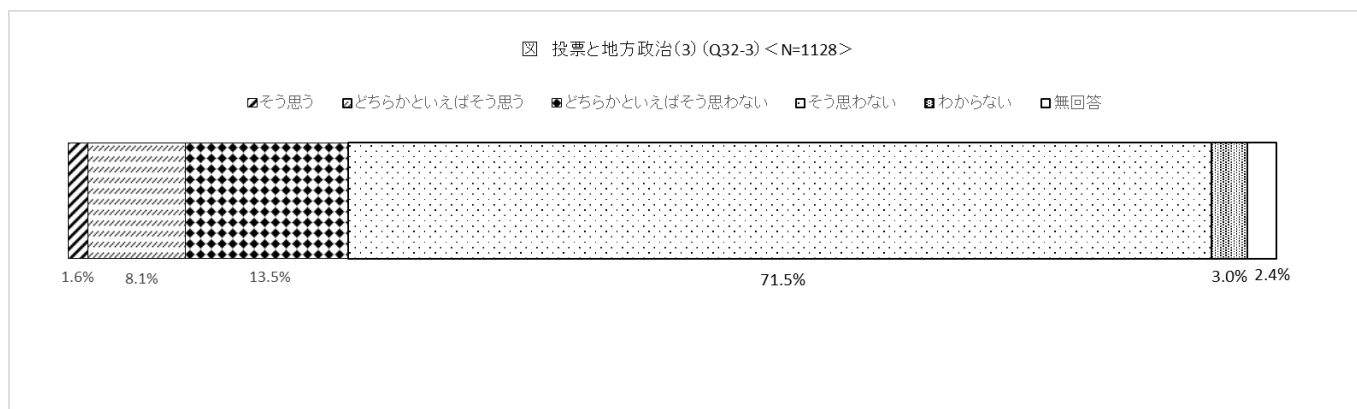
注) “自分の投票が、地方政治に反映すると思わない” は「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の合算。

注) 数値は回収数を 100 とした%

(2) 支持している政党・候補者に勝機がないとき、投票しても無駄であるという意識について、「そう思う」が6.8%、「どちらかといえばそう思う」が13.3%であり、合わせると20.1%の人は「自分の投票が無駄である」と感じている。一方、「どちらかといえばそう思わない」が14.9%で、「そう思わない」の56.5%と合わせると、71.4%の人はそのような状況でも「自分の投票は無駄でない」と感じている。



(3) 自分一人ぐらい投票しなくてもよいという意識について、「そう思う」が1.6%、「どちらかといえばそう思う」が8.1%であり、合わせると9.7%の人は「投票しなくてもよい」と感じている。一方、「どちらかといえばそう思わない」が13.5%で、「そう思わない」の71.5%と合わせると、85.0%の人はこのような意識に対し否定的に感じている。



(33) 政治知識の情報源 (Q33)

- ・政治や選挙に関する知識や情報を得ている情報源を複数回答で挙げてもらった。ほとんどの人は何らかの情報源を持っている。平均回答個数は2.66個である。
- ・情報源として群を抜いて高いのは「テレビのニュースや評論」で83.6%と、「新聞（一般紙）の報道や記事」で70.5%となっている。
- ・これまでの調査と比較すると、ほぼ同じ傾向がみられる。ただ、前回（平成27年）と比べると、機関誌や広報誌・パンフレットが減り、他方、「インターネット」の増加傾向が続いている(25.2%)。また、今回は「テレビのニュースや論評」が増え、「ラジオのニュースや論評」が減っている。

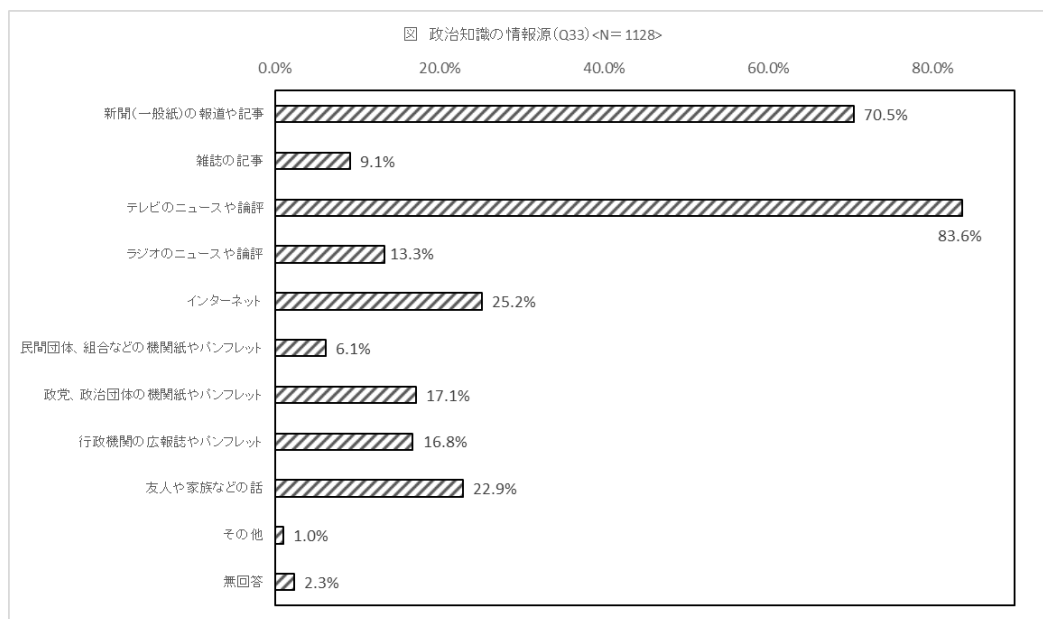


表 政治知識の情報源（時系列変化）

	回収数	新聞（一般紙）の報道や記事	雑誌の記事	テレビのニュースや論評	ラジオのニュースや論評	インターネット	紙やパンフレット、組合などの機関	政党、政治団体の機関紙やパンフレット	行政機関の広報誌やパンフレット	友人や家族などの話	その他	とくにな	無回答
昭和62年	1921	76.3	10.6	70.6	17.2	-	7.3	16.9	14.5	17.7	0.5	3.1	1.7
平成3年	1656	77.4	10.1	74.0	14.8	-	7.9	17.5	14.3	17.9	0.3	3.3	1.9
平成7年	1694	78.7	10.0	74.1	18.9	-	7.3	14.0	17.0	18.7	0.6	3.5	2.0
平成11年	1650	71.5	9.4	71.5	15.3	-	6.7	14.2	15.2	13.8	0.7	4.1	2.7
平成15年	838	76.7	12.1	76.5	16.2	4.3	7.8	16.1	17.8	24.1	0.4	3.0	6.1
平成19年	640	83.3	11.9	82.2	11.9	11.6	8.4	17.0	19.5	22.8	0.5	-	0.8
平成23年	1201	77.8	12.3	84.9	15.8	17.0	6.7	17.7	17.1	26.0	0.7	-	0.3
平成27年	966	70.4	10.6	81.8	16.0	23.1	7.9	22.2	21.5	24.5	1.7	-	4.1
平成31年	1128	70.5	9.1	83.6	13.3	25.2	6.1	17.1	16.8	22.9	1.0	-	2.3

注) 数値は回収数を100とした%